



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社
コード番号 5288 URL <https://www.asiapile-hd.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行役員 (氏名) 黒瀬 修介

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 鈴木 秀明

TEL 03-5843-4173

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	76,128	7.7	4,964	8.1	4,470	12.8	3,182	12.7
2023年3月期第3四半期	82,519	19.6	5,402	161.9	5,128	147.8	3,645	171.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,416百万円 (14.1%) 2023年3月期第3四半期 5,144百万円 (156.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	83.55	
2023年3月期第3四半期	95.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	96,194	48,519	45.9	1,158.51
2023年3月期	99,229	45,169	41.6	1,084.01

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 44,126百万円 2023年3月期 41,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		20.00	30.00
2024年3月期		15.00			
2024年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	4.8	6,000	4.5	5,500	5.9	3,400	17.7	89.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年1月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	38,089,792 株	2023年3月期	38,089,792 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	942 株	2023年3月期	805 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	38,088,931 株	2023年3月期3Q	38,089,011 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み景気の緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、世界的な金融引締めや、物価高騰、ウクライナや中東の地政学リスクなど、先行き不透明な状況が続く展開となりました。

当社グループが事業展開しているアセアン地区においては、ベトナムでは財政・金融面からの景気刺激策により上半期の低成長からは回復しつつあります。また、ミャンマーでは、クーデター以降、経済全体の停滞が続いています。

当期間における各セグメントの概況は以下の通りです。

① 国内事業

国内事業では、先行きの建設需要は底堅いものの、原材料価格高騰に伴う建設コストの上昇や、人手不足にある中、2024年4月に適用される時間外労働の上限規制を見据え、ゼネコンサイドで工事余力を温存する動きも見られることから、建設工事自体の工程見直し・着工遅延が続き、結果、国内コンクリートパイル業界の全体出荷量は前年同四半期対比大幅に減少しました。

このような動きは、特にコンクリートパイルのウェイトの大きい中小型工事案件で顕著であり、当社グループのコンクリートパイル出荷量も大きく減少しましたが、大型工事案件を中心に積極展開をしてきた新工法「Smart-MAGNUM工法」が市場でも評価され、更に同工法の施工効率改善も進んでいることから、採算面での改善に寄与しました。一方、大型工事を主体とする場所打ち杭・鋼管杭の売上高は前年同四半期対比で堅調に推移しました。

結果、国内事業の売上高は660億96百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は46億43百万円（同1.1%増）となりました。

② 海外事業

海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、ベトナム政府の金利引き下げ等の景気浮揚策により、金融面の収支は改善しつつありますが、不動産・建設市場回復の足取りは鈍く、業績は依然として低調に推移しました。また、ミャンマーの事業子会社VJP Co., Ltd.は事業活動がほぼ停止した状況が続きました。

結果、海外事業の売上高は101億17百万円（前年同四半期比31.8%減）、営業利益は4億1百万円（同55.9%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は761億28百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。利益面では、営業利益49億64百万円（同8.1%減）、経常利益44億70百万円（同12.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益31億82百万円（同12.7%減）となりました。

国内事業のコンクリートパイル需要の大幅減少や海外事業の経済停滞により前年同四半期比で減収減益とはいえ、営業利益、並びに各段階利益については、当期の計画に対して堅調に推移しており、2024年1月26日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて通期業績予想の修正を公表しました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ30億34百万円減少し、961億94百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が合計で18億95百万円、有形固定資産が合計で7億46百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が69億32百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ63億85百万円減少し、476億74百万円となりました。主な要因は、ファクタリング未払金が19億26百万円、未払法人税等が16億41百万円、借入金で合計で15億80百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加31億82百万円、配当金の支払いによる減少13億33百万円、為替換算調整勘定の増加5億58百万円、非支配株主持分の増加5億12百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ33億50百万円増加し485億19百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年1月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,685	13,753
受取手形、売掛金及び契約資産	37,305	37,054
未成工事支出金	2,182	2,542
商品及び製品	6,435	8,068
原材料及び貯蔵品	2,161	2,063
その他	1,230	1,549
貸倒引当金	△1,512	△1,700
流動資産合計	68,487	63,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,257	9,262
その他（純額）	17,501	17,242
有形固定資産合計	25,758	26,505
無形固定資産		
のれん	104	83
その他	463	465
無形固定資産合計	568	548
投資その他の資産		
その他	4,453	5,848
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	4,414	5,809
固定資産合計	30,741	32,863
資産合計	99,229	96,194

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,077	15,079
ファクタリング未払金	12,334	10,408
短期借入金	9,263	8,703
1年内返済予定の長期借入金	1,763	1,766
未払法人税等	1,878	237
契約負債	987	1,114
賞与引当金	726	219
完成工事補償引当金	157	164
工事損失引当金	97	32
その他	3,529	3,439
流動負債合計	46,817	41,164
固定負債		
長期借入金	4,731	3,708
役員退職慰労引当金	237	234
退職給付に係る負債	863	891
その他	1,410	1,675
固定負債合計	7,243	6,510
負債合計	54,060	47,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,621	6,621
資本剰余金	8,706	8,706
利益剰余金	24,577	26,426
自己株式	△0	△0
株主資本合計	39,904	41,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	1,248
為替換算調整勘定	539	1,098
退職給付に係る調整累計額	24	26
その他の包括利益累計額合計	1,384	2,372
非支配株主持分	3,880	4,393
純資産合計	45,169	48,519
負債純資産合計	99,229	96,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	82,519	76,128
売上原価	69,645	63,694
売上総利益	12,873	12,434
販売費及び一般管理費	7,471	7,469
営業利益	5,402	4,964
営業外収益		
受取利息	22	41
受取配当金	85	90
為替差益	63	—
その他	110	132
営業外収益合計	282	263
営業外費用		
支払利息	428	607
持分法による投資損失	67	20
その他	60	128
営業外費用合計	556	757
経常利益	5,128	4,470
特別利益		
固定資産売却益	116	14
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	127	14
特別損失		
固定資産除却損	55	20
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	57	20
税金等調整前四半期純利益	5,198	4,464
法人税等	1,452	1,380
四半期純利益	3,745	3,084
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	99	△97
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,645	3,182

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,745	3,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	429
為替換算調整勘定	1,424	901
退職給付に係る調整額	△1	1
その他の包括利益合計	1,398	1,332
四半期包括利益	5,144	4,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,538	4,170
非支配株主に係る四半期包括利益	605	245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,683	14,835	82,519	—	82,519
セグメント間の 内部売上高又は振替高	129	—	129	△129	—
計	67,812	14,835	82,648	△129	82,519
セグメント利益	4,594	910	5,505	△103	5,402

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,010	10,117	76,128	—	76,128
セグメント間の 内部売上高又は振替高	85	—	85	△85	—
計	66,096	10,117	76,214	△85	76,128
セグメント利益	4,643	401	5,045	△80	4,964

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。